

戦争は何を壊すのか。79年目、沖縄の戦争を知り考える。

【参加無料・予約不要】

沖縄戦展

日時：2024年6月21日(金)～23日(日)10時～17時 ※21日は19時まで

会場：九段生涯学習館 2階 ギャラリー 東京メトロ(東西線・半蔵門線)、都営地下鉄(新宿線)「九段下」駅下車6番出口前

「平和の礎」に刻まれた沖縄戦

証言動画を見る会

解説を交えながら証言動画を上映します。
※上映中は展示パネルを見るできません
※会場に30～40席程度設けます(予約不可)

6/22(土) | 3時30分～15時

慶良間諸島の戦争



那覇市から西に30キロ離れた慶良間諸島には、沖縄本島に先駆けて米軍が上陸し、集落を追われた住民は集団自決に追い込まれました。島の住民は、敵軍の脅威だけでなく、山奥に潜む日本軍にも苦しめられました。

た。食料供出の命令に背いて自分の畑から農作物を取ったり、スパイ容疑をかけられたりして、暴行処刑される住民もいました。

6/23(日) | 3時30分～15時

平和の礎に刻まれた沖縄戦



民間人を巻き込んだ地上戦が行われた沖縄戦の証言には、大勢の身近な人々の死が語られています。沖縄戦などの戦没者24万2046人の名を刻む「平和の礎」は、死者を悼む場として大きな役割を果たしてきました。一方で、戦場の記憶は風化し、そこに刻まれている祖先の名前が分からない家庭も増えています。個人の証言を通して沖縄戦の全体像を見るとともに、戦争体験の継承に向け、「平和の礎」をめぐる課題を考えたいと思います。

体験談パネル展示

沖縄戦の体験談とともに、そこで語られた戦没者のお名前を「平和の礎」の刻銘版で確認します。

ZOOM(ウェブ会議サービス)を使ってご自宅からも視聴できます。QRコードを読み込むと申込サイトへつながります。

写真展示

沖縄県内での遺骨収容の現場や戦跡の写真を展示します。(杉山英一氏撮影)



石壁に刻まれた弾痕(南城市)



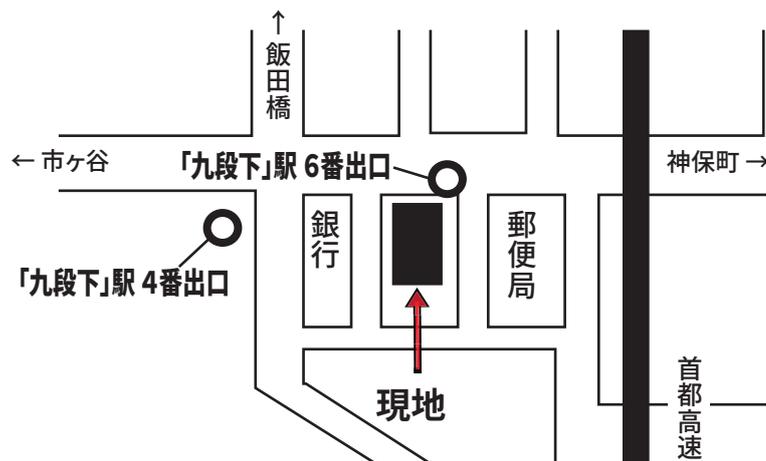
売りに出された戦争遺跡(糸満市)



古墓に残された遺骨と遺品(糸満市)

共催：戦場体験放映保存の会・杉山英一

九段生涯学習館へのアクセス



所在地：千代田区九段南1-5-10

地下鉄 東京メトロ (東西線・半蔵門線)、
都営地下鉄 (新宿線)
「九段下」駅 6番出口前
都バス 飯64・高71系統
「九段下」バス停下車 徒歩1分

今後のイベント予定のご案内

◆ 2024年7月19日(金)～21日(日) 浅草公会堂・1階展示ホール
証言パネル展示 & 戦場体験者講演会

- ・新しく作成した証言パネルの展示と、戦場体験者の証言会を開催します。
- ・昨年から証言テープの文字起こし作業に取り組んできたボランティアが、担当した証言者のお話から特に印象深いと感じた内容をパネルにして展示します。
- ・体験者の講演会は、開催期間の毎日午前・午後に各1回ずつ開催します。

詳細は、戦場体験放映保存の会のホームページおよびX(旧ツイッター)にてお知らせします。

戦場体験放映保存の会について

戦場体験放映保存の会

2004年12月に設立。アジア太平洋戦争の戦場体験を主に動画で後世に遺す活動を行っています。

元兵士・軍属の方々、沖縄や敗戦時の満州など、戦場となった地域におられた民間人の方々からの聞き取りを行っています。体験者自身が呼びかけの先頭にたち、戦争を知らない世代のボランティアが収録活動にあたる老若一体の活動を展開してきました。

収録した体験記録は、ホームページ(戦場体験史料館・電子版 <http://www.jvvp.jp>)で順次公開しています。

無色・無償・無名

私たちは「無色、無償、無名」を固い原則としています。どんな立場の方も、どんなご意見の方も、ただ戦場体験を語り継ぐ一点だけで手を繋ぎあいます。戦争の極地であった戦場がドラマや将官の戦記物のみで伝わることを避け、名もなき我々の声を残しておきたいのです。

問合せ先

公益社団法人マスコミ世論研究所内

戦場体験放映保存の会

〒114-0023 東京都北区滝野川6-82-2

TEL 03-3916-2664 (火木土日祝 10時～17時)

FAX 03-3916-2676

e-mail senjou@notnet.jp

戦場体験史料館HP <http://www.jvvp.jp>